

5.1. 本製品の設置

5.1.1. $\Phi 60.5\text{mm}$ ポール取付け

⚠ 注意

❗ 電動ドライバは使用しないでください。ねじが焼き付く可能性があります。

①バックボックスにポール取付金具を固定します。

ポール取付金具のねじ (M4x12) をゆるめて、
付属のなべ頭ねじ (M4x10) で4箇所ねじ止め
します。
(ポール取付金具のねじ抜け防止ワッシャは
外さないでください)

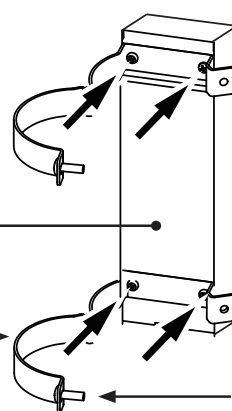


推奨締付トルク
0.4N・m

バックボックス

ポール取付金具

ポール取付金具の
ねじ



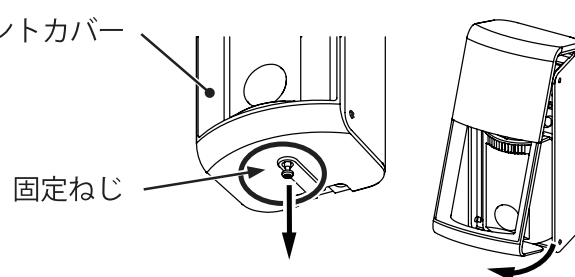
②フロントカバー下部の固定ねじをゆるめ、
フロントカバーを外します。

※ねじをゆるめ過ぎますと、ねじが落下
しますのでご注意ください。

※ねじを紛失したときは、十字穴付き小ねじ
(M3x10) をご用意ください。

フロントカバー

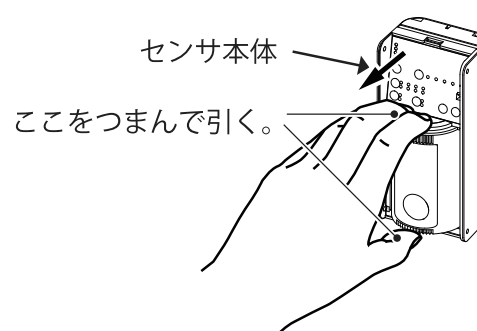
固定ねじ



③センサ本体を外します。

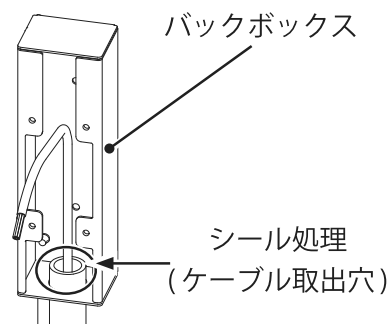
センサ本体

ここをつまんで引く。



- ④バックボックス下面のケーブル取出穴 (Φ 22) に、PF 管コネクタ / 電線管コネクタ等を取付けます。次にケーブル取出穴からケーブルを入線します。

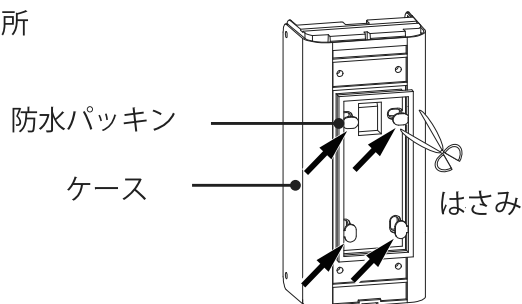
※ PF 管コネクタ / 電線管コネクタ等は、ご使用になる配管 / 電線管 (金属・樹脂) に合わせて、ご用意ください。



⚠ 注意

❗ 配管 / 電線管への浸水を防ぐため、ケーブル取出穴は必ずシール処理をしてください。

- ⑤ケース背面の防水パッキンのねじ穴部を 4 箇所はさみで切り取ります。



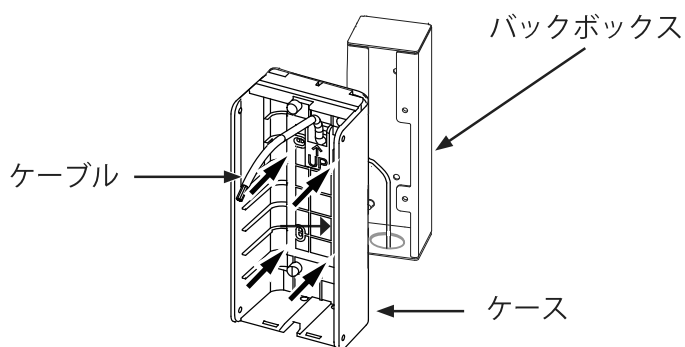
- ⑥ケース背面からケーブルを入線し、ケースをバックボックスに固定します。

付属の座金組込みねじ (M4x12) で 4 箇所ねじ止めします。



座金組込みねじ
(M4x12)

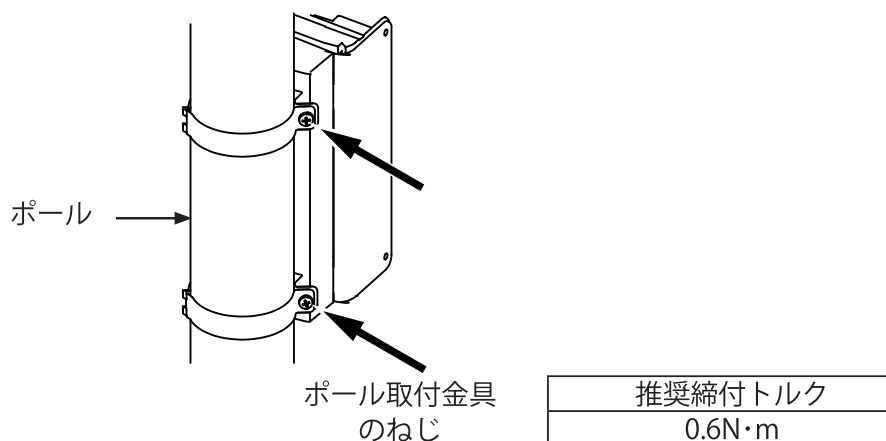
推奨締付トルク
0.4N・m



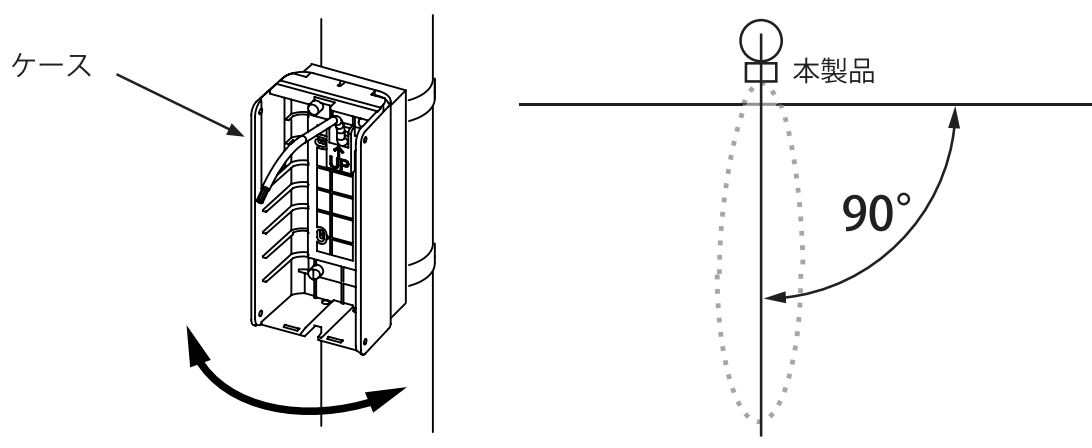
⑦ $\Phi 60.5\text{mm}$ のポールに取り付けます。

ポール取付金具のねじを軽く締め、ポールに仮固定します。

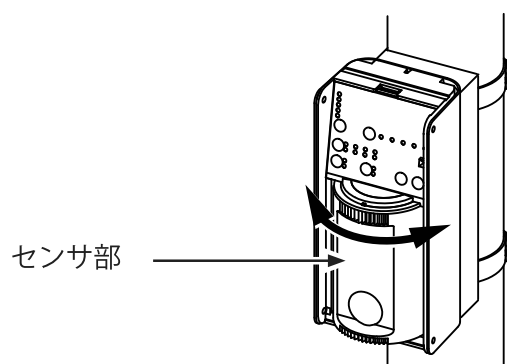
次に、ケースの正面が車路と 90° (下図参照)、設置高さ (地面から本製品の下端) が $500 \sim 530\text{mm}$ になるように調整し、ねじを締め付けます。



車路に対して 90° になるように、ケースの向きを調整する。

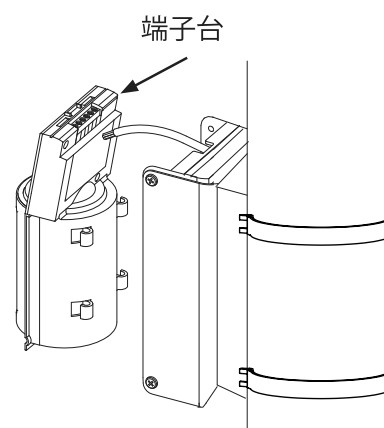
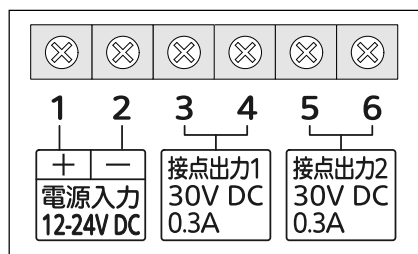


ケースを固定した後で角度調整したい場合は、センサ部を回転させて角度を調整してください。
 5° 刻みで左右各 30° の調整が可能です。
 下図を参照してください。



⑧端子台にケーブルを接続します。

DS09 端子台



端子番号	配列名	内容
1・2	電源入力	DC12V ～ DC24V
3・4	接点出力 1	無電圧出力 N.O. / N.C. 切替可能 DC30V 0.3A (抵抗負荷)
5・6	接点出力 2	無電圧出力 N.O. / N.C. 切替可能 DC30V 0.3A (抵抗負荷)

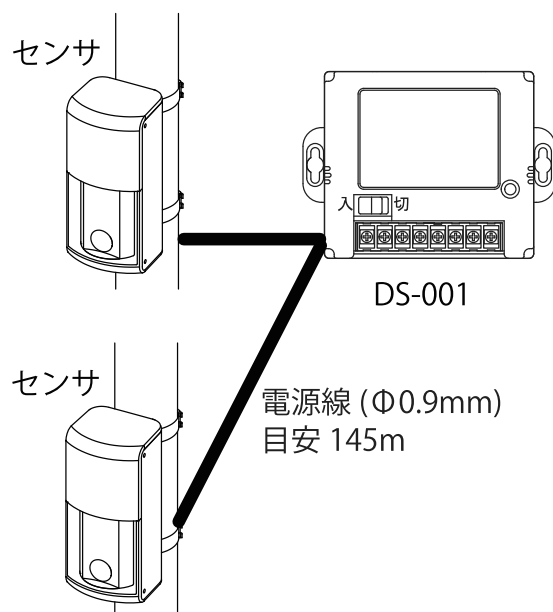
【適合電線】

単線 : 0.5 ～ 1.2mm (AWG26 ～ AWG16)

より線 : 0.3 ～ 2.0mm² (AWG22 ～ AWG14)

電線のストリップ寸法は 5 ～ 6mm にしてください。

シース (ケーブルの外皮) は Φ 8mm 以内のケーブルをご使用ください。



●センサ・電源間の最長配線距離 (目安)

線径	最長配線距離
Φ 0.65mm	150m
Φ 0.9mm	290m
Φ 1.2mm	510m

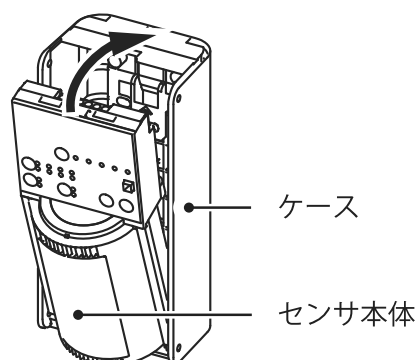
電圧 DC24V

同一配線上にセンサを 2 台以上接続する場合は、最長配線距離を接続台数で割った距離になります。

左図の場合 DS-001 にセンサ 2 台接続しますので、145m (290 割る 2 台) を目安に設置してください。

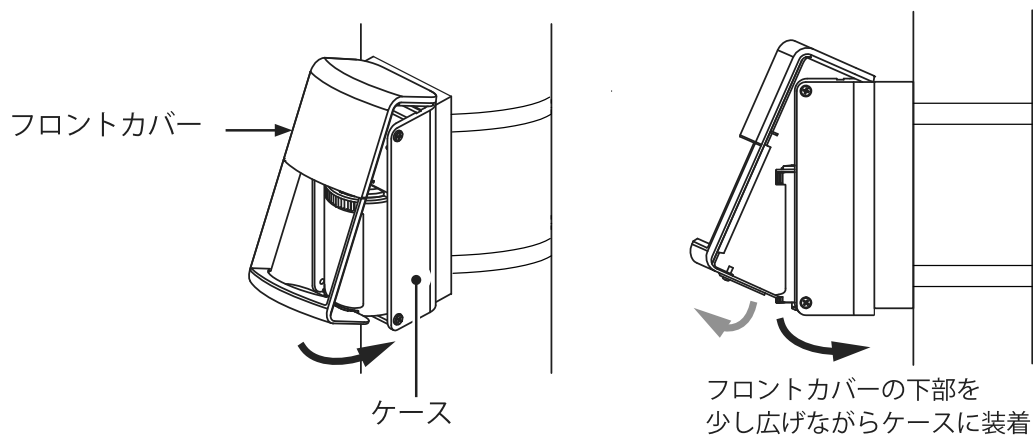
⑨ センサ本体をケースに収めます。

このとき、余分に引き出した配線はバックボックス側に押し戻してください。



⑩ 32 ～ 36 ページの「5.3. 基本設定」「5.4. 自動補正」「5.5. 検知エリア確認」をおこないます。

⑪ フロントカバーの上部をケースにかけ、フロントカバーを少し広げるようにして装着します。



⑫ フロントカバー下部の固定ネジを締め付けます。

